

平成 31 年度 生涯学習・社会教育関係職員研修事業パワーアップセミナー (2回目:Bコース)実施報告書 (HP版)

- ◆開催日時 令和元年 11 月 15 日 (金) 10:00～16:00
- ◆会場 遊学館 (山形市緑町1丁目 2-36)
- ◆対象 市町村社会教育・生涯学習関係職員 (公民館職員・コミュニティセンター職員含む) のうち、経験年数が 2 年未満の初任者
- ◆講師 廣瀬 隆人 氏 ((一社)とちぎ市民協働研究会代表理事)

- ◆出席者数 申込者 52 名中 49 名出席 (出席率 94.2%)

◆内容

時 間	内 容
10:00～	◆講義・グループワーク 「生涯学習・社会教育基礎講座 実践編 ～これからの公民館の役割と地域住民とのつながり」
11:50～	昼食休憩
13:00～	◆講義・グループワーク 「生涯学習・社会教育基礎講座 実践編 ～これからの公民館の役割と地域住民とのつながり」
15:50～	諸連絡・アンケート記入 16:00 終了

- ◆主催 山形県教育委員会 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

◆当日の様子

始めに、グループ内で自己紹介を行いました。ただ自己紹介をするのではなく、その中で互いの良い所を見つけ、伝え合う活動や、好きな食べ物から話題を広げていく活動を通して、短時間で互いの距離感が縮まり、とても良い雰囲気で研修がスタートしました。

その後、この半年の自分自身を振り返って「困っていること」や「わからないこと、聞きたいこと」などを交流しました。公民館講座へ参加する地域住民の不足や偏り、事業のニーズや住民との関係など、受講生が日々感じている悩みや迷いについて確認し合ったあと、講師の先生より、それらを解決するためのヒントやアドバイスをいただきました。固定化していたとしてもいつも来てくださる住民の方々をまず大事にすること、そこから人と人とのつながりを広げていくこと、趣味教養講座も人生を豊かにする価値ある学習機会であることなど、受講生が日々“これで良いのか”と不安に思いながら取り組んでいることこそ胸を張って取り組み続けていってほしいというお話をいただき、受講生からは「自信がついた」「迷っていたことについて、ズバツと答えてもらえて良かった」などの感想が寄せられました。



廣瀬氏の講義の様子



講義を聞く受講生の様子



グループ内で自己紹介



グループワーク「おもしろ村」に取り組む様子



グループワーク「おもしろ村」に取り組む様子

午後は「おもしろ村」というグループワークを行いました。メンバーがそれぞれ持っている情報を伝え合い、それらの情報をつながげながら問題の答えを見つけていく活動です。30分という制限時間内に答えを見つけるのは大人でも難しいこのゲームですが、15分ほどで答えを導き出すグループもありました。仲間とのコミュニケーションを通して課題を解決していくことの難しさや達成感を感じることができました。

研修の最後には、これからの社会教育や公民館の役割について講義いただきました。防災、高齢者福祉、地域福祉、外国人との共生、地域の高校生や青年の社会参画支援、地域づくりの担い手育成など、様々な課題がある現代ですが、それらに対して地域住民がつながりながら、何よりも楽しみながら取り組んでいく、その拠点が公民館であるということを再確認する機会となりました。

参加者の声

- ・ **自分の業務について深く考える機会になりました。日々の仕事に追われるだけで自分から投げかけられることなんか出来ないと諦めていましたが、地域の未来のためなら頑張れそうです。**
- ・ **迷っていたことについて、スバッと答えてくださるので聞いていてとても気持ちが良かったです。自分や地域の強みを生かして、地域等の実態で見つけてやっていけるよう努力していきたいです。“自分で考えて”やっていきたいです。そして自らが、友だちをつくり、知り合いを増やして地域づくりの一步を進めていきます！**
- ・ **地域づくりについて、課題解決しなければいけないと重く考えていたのですが、友達づくり、つながりづくりという身近なもので良いのだと気づき、小さなことから時間をかけて行うべきだと思いました。**